

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		One step smile東三国教室				公表日	令和 8年 3月 6日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	教室内のほかに公園での活動を行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	保育士、児童指導員等の有資格者が在籍しており、職員の規定人数は満たしている。公園に行くことが多いためタイミー等活用し人員配置をしている。	マンツーマン対応の子どもの利用が多くなった際に急な対応ができないことがあるため配置人数に余裕のある体制を構築していきたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		入口のバリアフリー化と教室内はけが防止のためクッションマット敷いている。	トイレの段差が高いため体感の少ない子どもには困難な場合がある。踏み台の設置など指導員が付き添うことで対応している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		玩具など日々の消毒を徹底と床の張替えや教室内のミストによる消毒を実施。活動に合わせてレイアウト変更に対応している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		相談室を使用して落ち着ける環境づくりをしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	業務改善や活動においてPDCAをもとに職員が参画できる体制をとっている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		アンケート結果を真摯に受け止め、業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		定期的にミーティングを行い業務改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		現在実績はないですが、今後実施できるようにしていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		毎月職員研修を実施している。	参加できなかった職員へは議事録等で周知している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		ホームページに掲載して更新していく。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		聞き取りを行い、利用者・保護者の意向を確認し計画書を作成し、同意を貰い交付している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		支援計画をもとに評価シートに進捗状況を、職員に聞き取りして記録している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		支援計画をもとに評価シートに進捗状況を、職員に聞き取りして記録している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		各児童ごとにファイリングを行い活動記録を随時更新している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	当日のプログラムを事前に計画している。	立案者が固定化しないようチームで実施でき	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	毎月、季節ごとなどでプログラムを変更して取り組んでいる。	るようにさらに工夫していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援をおこなっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		事前に計画したものを朝のミーティングで再確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		朝礼時に前日の振り返りをしたり、時間を確保し支援の共有や話し合いなどを随時行っている	当日は送迎の兼ね合いなどで参加できない職員もいるが、なるべく支援終了後に振り返りが出来るような時間を設けていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		業務日報の活用と各児童の評価シートに活動記録を残している。	検証・改善にすべての職員の意見を反映できるように努める。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		各児童に関する情報を収集し、モニタリングを行うことで個別支援計画に活かしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		管理者が担当者と連携して情報共有を行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		管理者が支援事業所の担当者と連携し、必要に応じて情報共有をしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		管理者が、小学校や特別支援学校(小学部)との間での担当者で連携し、必要に応じて情報共有をしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				現在実績はないが必要に応じて機会を実施したい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	1	地域の公園遊びの時に、タイミングが合えば関わられるような促しはしている。	現在実績はないが環境が整ってくれば実施したい。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		連絡帳や送迎時に情報共有を行っている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		9	まだ環境が整っていないが、ご家庭で取り組める内容を検討して、提案している。	現在実績はないが環境が整ってくれば実施したい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		運営規定は教室内に掲示し、その他は契約時に説明している。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		定期的に面談を行い、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて作成している。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を分かりやすく伝え、保護者から同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		定期的に面談をしながら、必要な助言と支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		9		要望は多く寄せられているので社会情勢が落ち着いたら実施したい。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		職員と話し合い、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		活動の様子やイベント等の行事を行い、HPやSNS等を活用し共有している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		守秘義務は就業規則で定めて大切に扱わせて頂いている。他機関との情報共有のため、同意書を頂いている。職員にも同様にもらっている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		個々に応じた情報伝達と誤解が生じないように配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		近隣の事業所と連携しハロウィンイベントを実施した。	今後も他事業所との連携や地域住民との関わりを増やしていきたい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		マニュアルの整備は職員間の周知はできている。	今後、マニュアルの内容について保護者様への説明をする機会を設けたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		避難訓練と避難経路等の確認、感染症対策研修を行っている。	避難訓練は限られた日程で参加できない児童もあり、実施の有無が不明な保護者もおられるので、実施後はSNS等やお便りで実施内容を報告できるようにする
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		契約時に確認し、対処法も含め細かく聞き取りを行っている。必要に応じて職員に研修を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		現在、指示書に基づく対応が必要な児童がいないがアレルギーのある方については、リストを作成し常に注意している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		契約時に説明して、必要に応じて周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハット事例集を作成し、定期的に職員全員で共有できている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9			身体拘束に関する説明（緊急時やむを得ない場合）を行い、保護者様の意向・同意を頂いている。	